

令和3年度総合計画審議会 議事録

と き : 令和3年8月10日(火)午後1時~5時50分

と ころ : 池田町役場 大会議室

1 出席者

【委員】

宮崎鉄雄 会長 平林康男 委員 森泉恵子 委員 小澤裕子 委員
山田 淳 委員 土屋征寛 委員 牛越邦夫 委員 赤田弥壽文 委員
(欠席:井上賢一郎 副会長 綿貫幹雄 委員 山本 勇 委員 吉村光代 委員)

【池田町】

<理事者・課長>

町長 甕 聖章 副町長 小田切隆 教育長 竹内延彦
企画政策課長 大澤 孔 住民課長 蜜澤佳洋 健康福祉課長 宮本瑞枝
産業振興課長 宮澤 達 建設水道課長 丸山善久 会計課長 伊藤芳子
学校保育課長 寺嶋秀徳 生涯学習課長 下條浩久 議会事務局長 丸山光一

(欠席:総務課長 塩川利夫)

<事務局(企画政策課町づくり推進係)>

課長 大澤 孔 係長 塩原 長 振興担当係長 丸山佳男 係 望月絢介
(株)KRC 長峯史弥(委託業者)

2 次第

(進行:企画政策課長)

- 1 開 会 (企画政策課長)
- 2 町長あいさつ(町長)
- 3 任務について(町づくり推進係長)
資料:条例にて説明
- 4 委員の委嘱
- 5 自己紹介(全員)
- 6 役員選出
- 7 立候補無、事務局腹案(会長:宮崎委員、副会長:井上委員)を拍手により承認
- 7 正副会長あいさつ(会長)
- 8 諮問(国土利用計画)
- 9 議事(進行:会長)

(1)国土利用計画（素案）について（町づくり推進係）

資料：国土利用計画（素案）にて説明

質疑応答（詳細議事録）

(2)池田町行政評価

①方針と概要について（町づくり推進係長）

資料：池田町行政評価方針と概要にて説明

質疑応答（詳細議事録）

②評価の概要説明と検証（説明：各課長）

資料：令和2年度【施策評価】検証綴りにて説明

質疑応答（詳細議事録）

10 第2回審議会について（企画政策課長）

日時 9月17日（金）午後1時～3時（仮）

内容 国土利用計画 答申、地方創生推進交付金事業評価

11 閉会（企画政策課長）

3 議事録（質疑応答 要約）

国土利用計画（素案）

<赤田委員>

16 ページ土地利用構想図⑨の水辺空間保全部分で高瀬川の一部が黒い線で区切られているが、これは池田町の土地の内、町が指定した場所を区切っているのか、それとも町村境なのか。

<振興担当係長>

町村境であり、枠外は松川村地籍となる。

<土屋委員>

SDGsの標準化や気候変動による災害の激甚化、移住定住、空き家の問題など10年間のブラッシュアップがバランスよく盛り込まれていて、非常にまとまった内容である。

県でも今年の4月に信州まちなかグリーンインフラ推進計画を作成し、2050年に向けてまちなかのグリーンインフラ整備を進めていこうとしている。市町村とも協力して進めたいという考えの中で、この素案には随所にその考え方が示されているため大変ありがたい。

表現等で気づいたところがあるが、それは後ほどこの様式で提出するという事でよいか。

<会長>

文言等についてはその時にお願いしたい。

池田町行政評価

方針と概要について

意見無

基本目標1「環境に係る施策」(1) 自然環境の保全活用、美しい景観づくり

意見無

基本目標1「環境に係る施策」(2) 治山・治水・利水の推進

意見無

基本目標1「環境に係る施策」(3) 環境衛生の向上、資源循環の推進

<平林委員> (要望)

ゴミを減らす一つの案としては目標を1人何キロと提示するのではなく、今のくらいのお金を広域に金を出していて、ゴミが減ればこのくらい減るという数値を周知すればどうか。

ゴミ処理機の補助金について、どんなゴミ処理機があるのかを広報等で知らせればよい。ゴミゼロ運動という形で、ゴミがなくなるような綺麗な街作りをお願いしたい。

基本目標1「環境に係る施策」(4) 公園緑地の整備活用

<牛越委員>

各地区児童遊園の滑り台とかブランコ等がかなり前から修理ではなく撤去され、ほとんどなくなっている。このままでは子供が気軽に遊べない。親が車で連れていかなければ、遊ばせることができないような方針はいかがなものか。

<健康福祉課長>

保護者へのアンケートで数箇所にとめて欲しいという希望や、以前は児童遊園等の管理は自治会が行っていたが、安全性を求める制度がすごく厳しくなっているため、かなり慎重にやっていたらいけないということもあり今回の方向性としている。今後もまた住民の方のご意見は聞いていこうとは思っている。

<牛越委員>

自分の子供や孫がそこで遊べないということは寂しい。2ヶ所と言っても池田も結構広いので、そこへどうやっていくのか考えなければならない。安全性の問題あるが、あらゆるところの遊具を撤去してしまうというのはやりすぎではないか。

<健康福祉課長>

既存の遊具は30~40年前に設置されたものが多く、修繕では対応できないような状況であり撤去という結果になっている。ちょっとした修繕で済むものについては、行っているが、そういう段階ではないものが多い。

身近なところに遊具があった方がよいという思いもとてもよくわかる。今後、意見を頂戴

しながら、実際どのようにするか検討したい。

基本目標2「子育て支援、教育に係る施策」(1) 子育て支援・青少年健全育成

<森泉委員> (要望)

発達に特性のある児童が年々増えていることに対してデイサービス事業の進出を希望すると書いてあるが、サービスのない市町村は多分この池田町だけだと考えているのでぜひ早期に実現して欲しい。

このサービスは民間の福祉分野が取り組みやすいところだと思うので、行政にはその後押しをぜひお願いしたい。日中は不登校への対応もできる施設になると期待している。

<赤田委員>

8 ページの 13 番、B の米作りについて、食育郷土愛を育てるための機会としたということだが、ここで体験したお米は給食に利用しているのか。

<学校保育課長>

給食に提供できたかどうかは不明。米の作り方を通じて知識を深めたり食育や郷土愛を育てる目的で行った。

<赤田委員>

多分少数の意見になるので批判はあると思うが、給食費を町が補助するのは非常に疑問がある。確かに人に優しいとか町民に優しいかもしれないが、食べ物は自分で賄うのが基本だと思う。昔は家庭で給食費を払っていたのだが、今は町が払わないといけないのは、払えない家庭が増えているのか。池田町が独自の理念を持って実施しているとは思いますが、貧しくて給食費も払えない家庭が増えているということであれば、家庭での収入が多くなるよう産業の見直しを行う必要がある。

ここにいる大勢の人は昔、農業を手伝いながら育ったと思うが、若い人はその手伝いをしていないので、会社に入って、叱られたりするとすぐくじけてしまって、仕事が続かない現象があちこちで起きている。

IT や AI 等の技術が進んでもバーチャルで食べることはできず、必ず実際のお米を食べる必要がある。農業は働く基本なので、13 番の B の米作り体験と合わせて、自分たちが作ったお米を自分たちが食べたり売ったりするカリキュラムが必要である。

<学校保育課長>

給食費の補助は小学生 2 万 5800 円という項目があるが、基本的には児童生徒 1 人当たり 2 万円を町が補助していて、令和 2 年度は給食費の材料の値上げで 2 万円以上の金額が出ている。

基本的に町は全員に 2 万円以上の補助をしている。経済的に困窮している家庭については就学援助制度を活用し、給食費は免除となっている。

<副町長>

子育て支援という側面から経済的に支援をするというのが一つの目的である。「子育て世帯が一番課題としているのは経済的なことである」ということは松川村とも共通認識のも

と共同で実施し足並みを揃えている。また、1食当たりの摂取カロリーが大北管内で一番低かったのをそれを上げるため給食費の補助をしているところもある。

給食費の補助については全国的に見ると、無償というところもある。

基本目標2「子育て支援、教育に係る施策」(2) 保育、幼児・学校教育の充実

<赤田委員>

取り組み結果の8で「いじめ問題はどの学校でもなくなることはない」という文面があるが、悩んでいる家族にとってそう言い切られてしまうと自分たちの訴えは解決されることはないと思えられてしまう可能性があるため、言い方を変えた方がいい。

<学校保育課長>

現状を受け入れるという立場でこういう書き方をしたが、確かに断定してしまうことはよくない。訂正する。

基本目標2「子育て支援、教育に係る施策」(3) 生涯学習のまちづくり

意見無

基本目標2「子育て支援、教育に係る施策」(4) 生涯スポーツの推進

意見無

基本目標2「子育て支援、教育に係る施策」(5) 交流の拡充

<平林委員> (要望)

これから厳しい財政だと思うが、特に子供が視野を広げるためにも、国際交流はぜひ進めてほしい。高瀬中学校でALTをしているランドル先生がカナダ出身なので相手先の一つとしてどうか。

基本目標3「生活基盤の整備・移住定住に係る施策」(1) 道路の整備

意見無

基本目標3「生活基盤の整備・移住定住に係る施策」(2) 住宅対策の推進

意見無

基本目標3「生活基盤の整備・移住定住に係る施策」(3) 上下水道の整備

<小澤委員>

取り組み結果、課題のところに「計画的な施設更新」という文面がある。今後20年以内に全水道管の3割が耐用年数を向かえるとあるが更新はもう行われているのか。

<建設水道課長>

上水道の配水管の改修は毎年行っている。去年は吾妻町と滝沢で実施、今年は吾妻町の更新を計画している。

一度に改修の年が来ないように順次更新を行うため、資産管理(アセットマネジメント)計

画により取り組んでいる。

<小澤委員>

そうであれば、すでに改修は開始されているという文面が加わるとよい。

基本目標3「生活基盤の整備・移住定住に係る施策」(4) 交通の整備

<土屋委員>

今後の方向性で通学路上の直接児童生徒に影響が及ぶ倒壊の危険のあるブロック塀について、安全を確保のため、関係部署との情報共有に努めていくとある。情報共有はもちろん大事だが、その先の危険ブロック塀の撤去まで記載した方がよい。

<学校保育課長>

危険ブロック除去についてその補助制度があるので追記したい。

基本目標3「生活基盤の整備・移住定住に係る施策」(5) 移住定住の促進

<小澤委員>

補助金の削減により空き家の利活用の停滞が心配されると書いてあったが、これは移住に関することなのかそれとも別の形で空き家を利用されていることがあるのかというあたりがわからない。移住者が空き家を利用したケースはおよそ何%か。

<企画政策課長>

空き家を契約した52件のうち移住者は25件ぐらい(約48%)。

空き家バンクというシステムがあるが実施は職員でなく近隣の不動産業者が行っている。空き家は相続等の問題があり扱いが難しいが不動産業者が入ることによってそのあたりはクリアができています。登録73件に対して契約52件というすごい数の買い手がついている現状である。家を建てるのはお金がかかるので移住者の方はなかなか踏み出せない方もいるので金銭的にも空き家を求める方は結構いる。空き家バンクは民間とタイアップして非常に良い形で進んでいる。

基本目標4「産業に係る施策」(1) 農業の振興・森林の保全活用

<牛越委員>

大町から入ってくるサルが堀の内や中島に集中して出没し、毎日のように花火で追い払う音が聞こえてくるが、追い払ってもすぐまた戻ってくるというイタチごっこの状況が続いている。

松川村や大町市は大量に大型の檻を使って成果を上げている。大型檻は非常に高価なものだが、池田も方向性を決めているので、とにかく実施してほしい。具体的にどこに設置をするのかということの協議に入るなどの方向性のところを強調してほしい。

<産業振興課長>

昨年度にGPSでだいたいの猿の動きを把握した。具体的にどこに置くかは決まっていないうが、捕獲した後のサルの措置を考えると民家の近くの設置は難しい。設置の際は相談したい。

基本目標4「産業に係る施策」(2) 商業の振興

意見無

基本目標4「産業に係る施策」(3) 工業の振興

<赤田委員>

円卓会議を工業でもやってほしい。基本目標4の産業に関わる政策以外は、ほとんどお金使う目標で、基本目標4こそ池田町の財政を支えている部分である。稼いでいる部分について、知ることから手を付けていかなければいけない。

工業があるから社員雇用が確保できて、給料が払えて、固定資産税に繋がっている。この歳入を池田町が増やそうと考えているのであれば、少なくとも、円卓会議を開いて、コロナで何が一番問題になって苦しんでいるのかヒアリングすることぐらい去年できたはず。それが1度もされてないということ自体に政策の問題がある。従って、この工業の振興の今後の方針は、全く役に立たない方向性である。

今年は工業部会においてアイデアを出すための円卓会議の開催を町長に強く求める。

<産業振興課長>

昨年度のコロナ対策の関係で令和元年度から2年度当初にかけて、意見や状況を吸い上げたが、交付金等を活用して対応しているということもあり政策に反映できなかった。会議の開催については再開するという確認をしている。

基本目標4「産業に係る施策」(4) 観光の振興

意見無

基本目標4「産業に係る施策」(5) 6次産業化の推進

意見無

基本目標4「産業に係る施策」(6) 雇用と労働

意見無

基本目標5「福祉と人権に関わる施策」(1) 住民福祉の向上

意見無

基本目標5「福祉と人権に関わる施策」(2) 保健予防・医療の充実

<森泉委員>

はつらつ健康スタンプ事業の評価について触れてほしい。

<健康福祉課長>

健康づくりの取り組みの中に載せていきたい。

基本目標5「福祉と人権に関わる施策」(3) 人権の尊重・男女共同参画の推進

意見無

基本目標6「消防・防災・防犯、行政運営に係る施策」(1) 消防・防災・防犯体制の整備

<山田委員>

指定避難所への誘導標識設置について目標に対してだいぶ実績が少ないがこれは民間からの寄付によって運営されるということか。

<企画政策課長>

基本的には町内47の避難所の案内標識は町で設置をしたいが財政的に厳しいため思うようにいかない。ただ、中電電柱の巻看板で避難所を案内しているものもあるので、それも一つの案内板としてカウントしながら47カ所を整備していきたい。

<平林委員>

消防団の定員が230名ということだが、ぜひこの定員を確保してほしい。

これからの消防というものはただ消火活動だけではなくレクリエーション等も入れながら楽しい青年団的な活動もあるものにしてほしい。

コロナの関係等でポンプ操法大会がなくなったと聞いているので技術の低下が心配されるが、火事の現場で水を出せる基本的な技術は習得してほしい。

基本目標6「消防・防災・防犯、行政運営に係る施策」(2) 開かれた町政と協働のまちづくり

<平林委員> (要望)

三丁目自治会の予算は約400万円で、その内自治会活動交付金として40万円約1割は町から支給されている。町内の自治会の予算を平均300万円と仮定すると、32自治会の総予算は1億円程度。

考え方によっては1割の予算で約1億円のまちづくりの事業ができていくことになる。これは非常に効果のある補助金であると再認識する必要がある。

については、自治会の活動実態を分析し、有効活用していくべきである。

基本目標6「消防・防災・防犯、行政運営に係る施策」(3) 財政の健全化

<森泉委員> (要望)

令和3年度の予算削減をチェックすると、生涯学習など人づくりの部分の予算が削減されている印象がある。

今日は町が様々な政策展開をして成果を上げているということがわかった。しかし、それらの取り組みが必ずしも町民にわかりやすく伝わっているとは思えない。各種事業成果の周知などを積極的に発信する必要がある。

基本目標6「消防・防災・防犯、行政運営に係る施策」(4) 行政の効率化・地域情報化の推進

<赤田委員>

成果指標の職員数106人について、100人の目標に対し6人多いので、6人分の人件費が

かさんでいるということか。令和5年の目標として97人にしないといけないとしたら、退職者がいない場合、リストラをしないといけないという目標を設定しているということか。

<企画政策課長>

平成29年度から10年間の計画で定めている「池田町定員管理計画」があり、最終年の令和8年度で95名を目標として、その途中の令和5年度は97名の目標を設定している。

令和2年度目標100名に対して実績106名なので、計画に対して職員が上回っている状況である。ついては、最終年の目標97名に向けて、取り組んでいかなければならない。

現在、行財政改革推進委員会を開催し、組織のスリム化について検討している。そこでもある程度思い切った案が出てくると思われるので、減らしていかなければならない。

<赤田委員>

人数を増やしてく目標ならば良いが、減らしていく目標は非常に辛い。計画だから達成しなければいけないが、住民に対する満足度を上げるためにこの計画より多い6人によってどのように高い住民サービスができるかを説明した方がよい。

基本目標6「消防・防災・防犯、行政運営に係る施策」(5) 行政の広域化

<土屋委員>

連携自立圏で、負担の割にその利用者の割合がゼロである病児保育の運営事業があるが、これはニーズがないのか、それとも他に何か要因があるのか。

<学校保育課長>

松川村は登録数が14人だが、池田町の利用者数はゼロである。ニーズはしっかり把握していないが、保護者に伺ったところ、どうしても子供を預けて仕事に行かなければならない状況にはならないという回答があった。その理由としては、祖父母に預けることができるか、子供が病気であれば自分が休むことができるという大きな2点があるかと思われる。

松川村の場合はもともと1人親世帯の方が転入時から病児保育の必要性を訴えていた関係上、実績もそれだけ出ていると聞いている。

以上